

## 入選

### あいさつ

新潟県 深沢小学校

1年 堀川瑚乃実

かぞくやともだちにあいさつをすることは、とても大切なことです。学校に行ったら、ともだちや先生に、「おはようございます。」とあいさつすることができると、みんな元気になれます。わたしも元気になれます。

朝おきたら、かぞくに、「おはようございます。」と元気にあいさつすることで、かぞくの日も明るくスタートできるのです。

あいさつをすることは、小さなしんせつですが、じつは、大きなしあわせにつながるがあります。たとえば、かぞくがいそがしいときに、「なにかてつだおうか。」とこえをかけることで、かぞくのたいへんな気もちをすこしかるくすることができます。

また、ともだちがこまっているときに、「どうしたの。」とこえをかけることで、ともだちのたいへんな気もちをかいけつしてあげることができるかもしれません。

わたしもこまっているときに、こえをかけてもらおうと、とてもうれしく思います。なつやすみのあいだ、ふかさわこうみんかんのおまつりでおどる『ジャンボリーミッキー』のれんしゅうをしているときに、ともだちやたくさんの大人がしんせつにこえをかけてくれて、たいへんな気もちがかるくなりました。

わたしは、いつもかぞくやともだちに、あいさつをすることをわすれないようにしています。あいさつをすることで、えがおがひろがり、やさしい気もちがうまれます。小さいかもしれませんが、それがつみかさなって、大きなしあわせにつながるとおもいます。わたしは、知らない人とはなすことや、大きなこえではなすことがにがてです。

しかし、大きなこえであいさつすることや、こまっている人にこえをかけることが大切なのだわかってきました。なつやすみのあいだ、朝おきたらなるべく大きなこえで、かぞくに「おはよう。」とあいさつをしました。ラジオたいそうで、ともだちやともだちのおやにもあいさつをするようにがんばりました。なつやすみがおわってからも、元気なあいさつはつづけていきたいとおもいます。

あいさつは、ただのことばではなく、心からの気もちがこもっている大切なものだと思います。

わたしは、これからもあいさつを大切に、かぞくやともだちとのつながりを大切にしていきたいとおもいます。

さいごに、この作文を2年生になったわたしがよみなおしたとき、きちんとまもれていると思えるように、がんばります。